令和元年７月２３日（火）　１学期終業式　校長式辞

本日、１学期終業式を無事に迎えることができたのは、まずは、皆さんの学校・学年・学級・生徒会・部活動などでの頑張りだったと思います。皆さんの１人１人の頑張りを心からねぎらいたいと思います。よく頑張りました！

この夏に全ての部活動を見ることはできませんでしたが、私の見た限り、勝とうが負けまいが、１人１人が素晴らしい取組をしていたと思います。試合に出ても出なくても、最後までやり通したことこそ一生の宝です。３年生の皆さんは、その自信と勇気をもって、新しい目標に突き進んでください。１，２年生は、それを継いでいくことになります。そこで、忘れてはいけないことがあります。それは、常日頃から二中や皆さんを応援してくれる家族、学校外の指導者、そして、もちろん教職員や支援員の方々などの、サポートがあったことを忘れてはいけません。常に「感謝の心」があるからこそ、社会から有用とされる健全な心（精神）が育ちます。

さて、話は変わりまして、昨日、沼津市で２人が刺され犯人が逃走中と言うことで、小中学校 10 校が突然休校となりました。この１学期、似たような事件が全国で何度も起こりました。

また、昨晩、島田市に、大雨・洪水警報と土砂災害警戒情報が出されました。思い出せば、この１学期、５月の大津市 16 人交通死傷事故、川崎の 20 人殺傷事件、６月の山形・新潟地震、そして、先週木曜日の、京都アニメーション事件では、34 人の方が亡くなり 34 人の方が怪我をするという大惨事が起きました。突然亡くなった幼い命から成人に至るまで、いずれも何の落ち度もない人たちです。

私は、このような事象を見て、今までの「防犯」や「防災」とは違った対応力が、求められていると考えています。それはどのようなものかと言いますと、最近起きている様々な事件・事故を見て、自分ごととして知識を蓄え、「危険を察知(想像)する力」と「自分の命を自分で守る力」だと思っています。

例えば、昨晩のように、島田市に大雨が降り続けた時、今まで知り得た知識や経験を駆使し、避難すべきか留まるべきか判断し、家が山の近くで濁流が押し寄せていたならば、２階以上に避難します。更に、携帯で現在の危険を発信します。

日本で起きているこれらのテロとも言える事件についても同じ事が言えます。報道等で学んだことを基に、とっさの判断と行動力により、生き抜いていく時代と言っても過言ではないと思います。

毎年、テレビや新聞で、夏休み中の小中学生の事故や事件の報道を聞きます。皆さんは、どんな時でも、自分たちの力で、たくましく・賢く、生きてほしいと思います。それが、事件・事故で亡くなった多くの人たちの夢や希望や命を、継いでいくことにもなると思うからです。毎日、毎日を大切にし、充実した夏休みにしてください。